

関東同窓会総会・懇親会に 294 人参加

宮原氏の講演、同窓生プロの演奏で盛り上がり

関東同窓会は 7 月 1 日（日）、東京・千代田区の如水会館で第 51 回総会・懇親会を開催しました。今年の参加者は 294 人で、1999 年（第 38 回）の 295 人以来の大盛況となりました。来賓として、上田高校の小林一雄学校長(69 期)、同窓会本部の日置勇二理事長(60 期)ら 8 人が出席しました。

開幕イベントでは、ネパール在住 46 年の宮原巍氏（50 期）が「ネパール半世紀の変遷」と題して講演し、戦前からのヒマラヤ登山の歴史を、高さ 8000 メートル以上の美しい山々のスライドを見せながら解説。なぜエベレストに登るのかと聞かれて「そこに山があるから」と答えた英国人登山家マロリーが頂上付近で帰らぬ人となったエピソードなどを紹介しました。また、国王親政から政党政治に移行した後も政治混乱が続いているネパールの現状も報告されました。

続いて開かれた総会では、滝澤進会長（61 期）が IT の活用、若手会員の取り込みなど 5 つの柱からなる「アクションプラン 2012」を実行する決意を表明。今総会で任期満了となる栗山正雄幹事長（62 期、副会長は継続）の後任に、副幹事長の丸山暢久氏（65 期）を選出しました。

この後、隣の大ホールに会場を移して演奏会を開催。プロミュージシャンの荻原松美氏（85 期、打楽器）と夫人の西田紀子さん（ピッコロ・フルート）、窪田健志氏（99 期、マリンバ）が「木曾節」「コパカバーナ」「朧（おぼろ）月夜」などの曲を演奏し、万雷の拍手を浴びました。

懇親会の談笑が続く中、若手を代表して 109 期と 110 期の男女 4 人が登壇してあいさつ。中山結さん（109 期）は吹奏楽班が OB 会設立を計画していることを紹介し、元班員に登録を呼びかけました。さらに元応援団長の西村賢治氏ら 65 期の応援団 OB 4 人が「団長拍子」の華麗な舞などを披露し、参加者全員で校歌、凱歌などを高らかに斉唱。会場の熱気に誘われたのか、出席者最年長の手塚敬一さん（44・5 期）ら大先輩 4 人が突如登壇して戦時中の思い出を話すなど、懇親会は最後まで大いに盛り上がりました。

関東同窓会 編集長 真山隆夫(62 期)

（写真は次ページ）



宮原巍氏の講演会



講演する宮原巍氏



総会の全景



総会で挨拶する滝澤進会長



新幹事長に選出された丸山暢久氏



演奏会



109、110期の4人



懇親会の全景



65期応援団OBのリードで校歌斉唱



最年長44-50期の4人